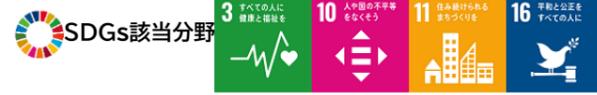


令和4年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	6 地域福祉の推進

☆ 目指す姿

多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組みされており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができている。



■ 施策の主な取り組み

① 総合的な福祉サービスの提供

市民が必要な情報を取得することができ、また安心して福祉サービスを利用することができるように香芝市総合福祉センターを福祉サービスの総合的な拠点として維持・運営します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
総合福祉センター貸室の利用率	%	年間稼働稼数/年間利用可能稼数	50	55	60	65
総合福祉センターサービス提供満足度	%	施設に関するアンケートで「満足」と回答した人数/全回答者数(センター来訪者対象)	-	70	80	90

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	総合福祉センター管理運営事業	総合福祉センター施設の維持管理、貸室(全8室)の利活用の促進、かしば・屯鶴峯温泉の運営を行います。	●

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
-	53	22	35	66.6%	64.2%	福祉部 社会福祉課
-	50	-	83	-	-	福祉部 社会福祉課

② 地域で支え合う仕組みづくり

地域住民の交流を促進するとともに、地域福祉を担う団体等を支援することで、地域の多様な主体により生活課題・福祉課題を解決するための支援が包括的に提供される仕組みづくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
地域福祉計画目標達成率	%	各事業の評価指数の合計/各事業の評価指数の最大値の合計	70	80	85	90
小地域福祉活動実施地域	%	地域福祉推進委員会又はふれあいいきいきサロンが設置されている地域数(累計)/設置対象地域数(全47地域)	68.0	78.7	89.3	100.0

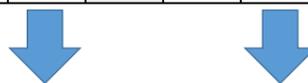
■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	地域福祉推進事業	市内各地域にふれあいいきいきサロン等の活動組織を設置します。また、ボランティア活動の推進及び民生委員・児童委員や保護司等の支援を行い、各関係団体、組織間の連携を図ります。	●

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
78	80	-	78	-	-	福祉部 社会福祉課
65	75	65	65	86.7%	82.6%	福祉部 社会福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策)		
※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入								
①-1	総合福祉センター管理運営事業	【実績】 コロナ禍で活動を休止、縮小した団体等があるなか、令和2年度実績値(30%)を上回る利用率となった。 【課題】 中規模修繕工事に含まれていない整備不良箇所の改修	A	90 72 100	現状維持 現状維持	総合福祉センターの貸館及び屯鶴峯温泉は中規模修繕の完了により、感染防止対策を行いつつ、6月から再開しており、数値化できない効果も含め必要性・有効性が高い事業である。	福祉部 社会福祉課	
②-1	地域福祉推進事業	【実績】 ・感染症拡大防止のためふれあいの集いは中止、ボランティアフェスティバルは時間を短縮して実施。11月23日開催、76団体、603名参加 ・民生委員・児童委員、職員を対象としてあいさつリーダー研修を実施 4回 ・合理的配慮の提供に関する補助事業を実施、申請件数12件、補助総額1,900,588円(見込み) 【課題】 ・感染症予防に配慮しつつ、地域福祉の推進イベントを可能な限り実施していく。 ・市民・事業者向けの研修会が実施できないか。 ・合理的配慮の提供に関する補助事業について、対象経費の見直しを図る。	A	85 80 67	現状維持 現状維持	第3期香芝市地域福祉計画の進捗状況は順調に推移している。社会福祉協議会を中心とした小地域福祉活動については、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の制限や地域の担い手不足などが課題となっており、目標の達成に向けた取り組みの見直しを含め対応策の検討が必要である。また、地域共生社会の実現に向けた個別の事業についても年度ごとに3視点による検証と再評価を行う。	福祉部 社会福祉課	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	<p>【①-1総合福祉センター管理運営事業】 福祉の拠点施設として安全・安心に利用できる施設の提供及び福祉行政の安定した遂行に取り組んでいく。</p> <p>【②-1地域福祉推進事業】 今年度は地域福祉の推進に向けた各事業を概ね目標通りに実施することができた。次年度は、地域福祉計画の中間年ということもあり、今年度の課題点の修正をはかり、向計画に掲げる取り組みの進捗確認を促すなど、引き続き地域福祉の推進に向けた取り組みを進める。</p>
---------	---

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	2 事業	拡充	事業	拡大	事業
B	0 事業	現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	事業	縮小	事業
		休止	事業	休止	事業

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	7 医療提供体制の充実

★ 目指す姿

すべての世代が、かかりつけ医を持ち、適切な時期に適正な医療を受診することができる。



■ 施策の主な取り組み

① 地域医療体制の充実

市民が必要な時に適切な医療を受けることができるよう、在宅医療の推進、救急医療体制の確保、市医師会・県・近隣市町村等との連携強化を進めます。また、市民への周知・啓発を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	夜間休日応急体制充実事業	葛城地区3市1町と病院で連携し、休日・夜間の診療所運営や二次救急輪番体制実施します。また、救急医療の仕組みやかかりつけ医等に関する啓発活動を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
二次救急の応需率	%	受け入れた件数/受け入れ要請件数	76.0	80	82	84
こども救急電話相談(#8000)の認知度	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「知っている」と回答した人数/全回答者数	93.4	95	95	95

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
69.1	78	—	—	—	—	健康部 保健センター
91.2	93.0	92.8	93.5	100.5%	98.4%	健康部 保健センター

② 感染症対策の推進

感染症の拡大防止と重症化予防のため、各種予防接種の受診の徹底を図ります。また、奈良県や医師会・保健所等の関係機関と連携して新型コロナウイルスを含んだ未知の感染症対策に取り組むとともに、市民に対して社会情勢や環境変化を捉えた啓発を実施します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	予防接種事業	「予防接種法」に基づく定期予防接種(一部、公費負担あり)の実施、未接種者に対する勧奨を行う。また平時から、広報紙等を活用した感染症に関する注意喚起を行います。	●
②-2	感染拡大対策事業	市医師会、北葛城地区医師会(香芝市・葛城市・広陵町・上牧町・王寺町・河合町)との連携会議を開催し、有事の際の対応について情報共有するとともに、その体制を整えます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
MR(麻疹風疹)の接種率	%	各接種者数/MR1期(1歳児)、MR2期(年長児)接種対象者数	92.5	93	95	97
高齢者インフルエンザ予防接種の接種率	%	65歳以上のインフルエンザ予防接種の接種者数/65歳以上の人口	52.2	55	57	59

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
90.1	91	50.9	93.7	103.0%	100.8%	健康部 保健センター
57.2	55	—	57.5	104.5%	104.5%	健康部 保健センター

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	夜間休日応急体制充実事業				【実績】 ・新型コロナ感染症対応もあり令和3年度から応需率が減少している。(県全体も同様) ・行事を行う際や広報・ホームページ等で救急電話相談の周知を行っており、認知度は増加傾向。 ・香芝市医師会連携会議は年3回実施予定。 【課題】 ・救急電話相談窓口のさらなる周知啓発が必要。	A	77 80 85
②-1	予防接種事業	【実績】 ・生後2か月児に予防接種開始案内のハガキを送付した。 ・二種混合予防接種案内通知を今年度11歳になる児童に夏休み前に送付した。 ・子宮頸がん予防ワクチン接種案内通知を、平成9年4月2日生まれ~平成22年4月1日生まれの女子に対し、4月から8月にかけて順次送付した。 ・乳幼児健診、相談にて母子健康手帳で接種確認をし、未だの場合は勧奨した。 ・高齢者肺炎球菌予防接種の案内通知を対象者に接種券と共に6月に送付した。 ・風しん抗体検査の対象者に無料クーポン券を6月に送付すると共に、市内実施医療機関、薬局、公共施設にポスターを掲示した。また1月には未受検者に勧奨ハガキを送付した。 ・保健センター行事予定表や市の広報、ホームページに掲載し周知を図った。 ・インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備え、国からの通知に基づき、高齢者インフルエンザ予防接種の期間を一部医療機関で延長した。 【課題】 ・令和5年4月より子宮頸がん9価ワクチンが定期接種化されるにあたり、周知方法が課題である。国からの通知に基づいて周知する予定。	A	72 75 85	現状維持 現状維持	・予防接種法のもとで実施しており、継続していく必要がある。	健康部 保健センター
②-2	感染拡大対策事業	【実績】 ・毎週発行の奈良県感染症情報(奈良県)、感染症エクスプレス(厚労省)をチェックし保健センター職員全員が情報共有し、感染症の流行状況を把握した。 【課題】 ・感染症の流行があり必要であれば、予防方法を含めその情報を周知する必要がある。	A	80 75 80	現状維持 現状維持	・正確な感染情報、その対処や予防方法を把握し住民に啓発周知していく。	健康部 保健センター

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・今後も安定した医療体制の確保が出来るよう、関係市町と連携を継続していく。 ・子宮頸がんワクチンについて広く周知し、接種率の向上を図る。また、9価ワクチンについても対象者に情報提供を行い、子宮頸がんワクチン全体の接種率向上を図る。 ・感染症対策について必要な医療対策が行えるよう、情報収集及び医師会と連携を図る。
---------	--

担当課評価	
A	3 事業
B	0 事業
C	0 事業

	成果の方向性		コストの方向性	
	拡大	縮小	拡大	縮小
拡充	事業	事業	事業	事業
現状維持	3 事業	現状維持	3 事業	事業
縮小	事業	縮小	事業	事業
休止	事業	休止	事業	事業

政策名 2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名 8 健康づくりの推進

★目指す姿

健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。



■施策の主な取り組み

① 健康的な生活習慣の推進

病気の予防、早期発見・早期治療に取り組む等、市民一人ひとりが「自らの健康は自分で守る」という意識を持ち、主体的に健康づくりを進めるために、各種健(検)診・教室・相談・啓発活動の充実を図ります。

■実施する主な事業

Table with 4 columns: No, 名称, 概要, 総合戦略. Rows include ①-1 がん検診事業, ①-2 健康づくりに関する教育事業, ①-3 医療費適正化事業.

◆指標の達成状況

Table with 5 columns: 指標名, 単位, 算出方法(指標説明), 計画当初(R1), 目標値(R6, R10, R14). Rows include 5大がん検診受診者数, 特定健康診査受診率.

Table with 6 columns: 前年度実績値(R3), 今年度の進捗(目標値, 中間値(9月末), 実績値(年度末), 目標達成度(R6年度比), 担当所管). Rows include 5.600, 35.8.

② 心の健康づくりの推進

生きづらさを感じているかたが、心の健康相談や臨床心理士によるカウンセリング、発達相談を受けることができます。また、学校給食への地元食材の使用、料理教室等の開催を通じて、子どものころから「食」について考える環境づくりを進めます。

■実施する主な事業

Table with 4 columns: No, 名称, 概要, 総合戦略. Rows include ②-1 精神保健事業, ②-2 子ども・若者相談支援事業.

◆指標の達成状況

Table with 5 columns: 指標名, 単位, 算出方法(指標説明), 計画当初(R1), 目標値(R6, R10, R14). Rows include 自殺死亡率の減少, 子ども・若者相談支援件数.

Table with 6 columns: 前年度実績値(R3), 今年度の進捗(目標値, 中間値(9月末), 実績値(年度末), 目標達成度(R6年度比), 担当所管). Rows include 11.8, 29.2.

③ 望ましい食生活の定着推進

食生活と栄養についての知識の普及を進め、健全な食生活を実践できる習慣を身に付けることができます。また、学校給食への地元食材の使用、料理教室等の開催を通じて、子どものころから「食」について考える環境づくりを進めます。

■実施する主な事業

Table with 4 columns: No, 名称, 概要, 総合戦略. Row includes ③-1 食育推進事業.

◆指標の達成状況

Table with 5 columns: 指標名, 単位, 算出方法(指標説明), 計画当初(R1), 目標値(R6, R10, R14). Rows include 食に関する教室の参加率, 食事バランスが取れている人の割合.

Table with 6 columns: 前年度実績値(R3), 今年度の進捗(目標値, 中間値(9月末), 実績値(年度末), 目標達成度(R6年度比), 担当所管). Rows include 49, 30.

■実施する主な事業の評価

Large table with 6 columns: No, 事業名, 今年度の事業評価(実績と課題), 今後の方向性(3視点: 必要性, 有効性, 効率性), 所管判定(成果の方向性, コストの方向性), 方向性の内容(改善策), 担当所管. Rows include ①-1 がん検診事業, ①-2 健康づくりに関する教育事業, ①-3 医療費適正化事業, ②-1 精神保健事業, ②-2 子ども・若者相談支援事業, ③-1 食育推進事業.

■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性
・がん検診事業、健康づくりに関する教育事業については、今後の方向性(改善策)に沿って事業を実施し、主体的な健康づくりを勧め、検診や教室相談啓発活動の充実を図る。

Table with 3 columns: 担当課評価(A, B, C), 成果の方向性(拡大, 現状維持, 縮小, 休止), コストの方向性(拡大, 現状維持, 縮小, 休止).

令和4年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	9 高齢者福祉の充実

★ 目指す姿

地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。



■ 施策の主な取り組み

① 自立支援・介護予防・重度化防止の推進

高齢者が生き生きと自立した生活が送れるよう、地域のニーズや課題、活用できる社会資源を把握し、自立支援・介護予防・重度化防止に向けた各種サービスを展開します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
地域活動による『通いの場』の設置割合	%	「いきいき百歳体操」が行われた地域数/設置対象地域数(全50地域)	30.0	84.0	94.0	100.0

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
40	58	42	46	79.3%	健康部 介護福祉課

② 日常生活を支援する体制の整備

地域包括支援センターの機能を強化するとともに、地域住民や事業者等の協力も得ながら、高齢者の安全で安心な日常生活が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の強化を進め、介護等が必要になっても住み慣れた地域で過ごすことができる仕組みづくりを推進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
地域で孤立せず生活できている高齢者の割合	%	介護保険意向調査で「心配事や愚痴を聞いてくれる人が1人以上いる」と回答した人数/全回答者数(65歳以上の市民の方対象)	89.1	89.5	90	90.5
認知症サポーター養成人数	人	認知症サポーター養成講座に参加した人数(平成22年度からの累計)	3,843	4,800	5,600	6,400

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
-	89.5	-	89.7	-	健康部 介護福祉課
4,193	4,393	4,428	4,509	102.6%	健康部 介護福祉課

③ 介護保険給付の適正化

介護給付費の適正給付に取り組み、介護保険制度の財政的な健全性を確保し、安定的な運営を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
居宅サービス費(1人当たりの給付額)	円/月	居宅サービスに係る給付費を利用者数で除した金額	104,141	110,000	110,000	110,000

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
113,112	110,000	103,190	102,021	107.3%	健康部 介護福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	方向性の内容(改善策)		
※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入							
①-1	介護予防・日常生活支援総合事業	【実績】 ・12月に生き生き百歳体操の全体研修会を実施した。地域の生き生き百歳体操の通いの場が、4か所増加した。 ・地域で行う介護予防教室は、地域活動が再開してきたことに伴い、開催実績が増加している。 【課題】 ・3~6ヶ月の短期集中で運動機能向上を目指す、通所型Cのサービス終了時に、生き生き百歳体操等の通いの場に利用者がつながれるよう支援しているが、コロナウイルスの影響により、活動を休止している地域も多い。 ・活動休止している地域の生き生き百歳体操等の再開支援を行うとともに、新たに生き生き百歳体操を実施する地域を増やすため、説明会や普及・啓発の方法を検討していく必要がある。	B	90	現状維持	【成果の方向性】現状維持 ・通所A、訪問Aの日常生活支援、介護予防サービス等は、コロナ禍においても昨年と同様のサービス提供となっている。 ・地域における通いの場「いきいき百歳体操」は、コロナウイルス感染第7波の影響を受けて、体験説明会や研修会が計画通りに開催できていないが、感染状況を鑑みて実施予定。 【コストの方向性】現状維持 ・後期高齢者の増加により、サービスを必要とする高齢者が増える傾向にあるが、住民主体による「通いの場」の立ち上げの推進、また、事業者等が提供するサービスの適正利用を促進することにより、コストの現状維持を図る。	健康部 介護福祉課
				52	現状維持		
				67	現状維持		
②-1	高齢者のための支援体制整備事業	【実績】 ・虐待等防止ネットワーク代表者会議に参加し、児童・障害者・高齢者の虐待等防止対策の成果や施策の方向性について検討した。 ・市民権利擁護講演会を開催し、奈良県内で発生している特殊詐欺被害の実態の紹介や身近な人が詐欺被害にあった時の対処方法について研修を行った。 ・認知症サポーター養成講座を10回実施した。フォローアップ講座は全3回実施。ステップアップ講座を実施し、28人が修了した。 【課題】 ・成年後見制度や終活等に関する相談数が11件で令和3年度1件と比べて増加し、関心が高まっているため、将来の備えをテーマに権利擁護講演会の開催を行う必要がある。 ・令和5年度に向けて、認知症ステップアップ講座を修了した人が【傾聴活動】「集いの場」【イベント活動】のグループ編成を行い、チームオレンジを立ち上げるために支援が必要である。また、既存のサロン活動等の地域活動をチームオレンジとして担うことができるよう検討が必要である。	B	77	現状維持	【成果の方向性】現状維持 虐待等防止ネットワーク代表者会議に参加し、児童・障害者・高齢者の虐待等防止対策の成果や施策の方向性について検討する。また、認知症サポーター養成講座を7回実施予定。フォローアップ講座を実施し、より深く認知症を理解できるような支援を行う予定。認知症の理解を深め、認知症にやさしいまちを目指していく必要があるためステップアップ講座を実施する予定。 【コストの方向性】現状維持 事業費は、増加するものの、ボランティア等を活用し現状維持とする。	健康部 介護福祉課
				72	現状維持		
				72	現状維持		
②-2	介護予防支援事業	【実績】 ・要支援者等のケアプランを確認し、助言を行った。 ・自立支援型地域ケア会議を予定どおり実施(年19回、各3ケース)。専門職の助言を得ながら、要支援認定者の自立支援に向けたアセスメント力の向上等に取組んだ。 【課題】 ・IADL(買物や金銭管理、薬の管理等応用的な動作)に関するケアマネジメント力の強化。また、地域ケア会議で得た助言を活用できるように支援する必要がある。 ・複雑な課題を抱え、長期的な対応を必要とするケースが増加しているため、多職種との連携を強化する必要がある。	B	77	現状維持	【成果の方向性】現状維持 個別のケアプランをチェックすることにより、自立を支援するためのケアプランにつなぐことができ、引き続き事業を継続していく必要がある。また、自立支援を目的とした地域ケア会議を実施し、専門職が助言することで、ケアマネジャーが自立支援の必要性を再確認し、ケアプランに生かしていきけるよう事業を継続実施していく。 【コストの方向性】現状維持 高齢者の増加により、事業費も若干増加するものの、方向性としては現状維持とする。	健康部 介護福祉課
				75	現状維持		
				72	現状維持		
②-3	生きがい対策事業	【実績】 ・香芝市ふたかみクラブ連合会が実施するパークゴルフ大会、ウォークラリー大会等の健康づくり・介護予防支援事業を通して、高齢者の社会参加、親睦交流を深めるとともに、心身の健康保持体力の増強を図り、高齢者福祉の向上に努めた。 ・新型コロナウイルスの影響により、敬老会は中止したが、高齢者芸術展は9月の敬老月間に総合福祉センターで実施した。 【課題】 ・敬老会、高齢者芸術展に関しては、手法等を検討し、コスト縮小に努めるとともに、1人でも多くの高齢者が参加できる内容を検討する必要がある。	B	59	現状維持	【成果の方向性】現状維持 ふたかみクラブが生きがいづくりを目的に実施する事業に支援を行うことにより健康づくりと介護予防に一定の効果はみられている。コロナウイルスの影響で、今年度も敬老会は実施できていないが、今後、事業のあり方について、検討をする必要がある。 【コストの方向性】縮小 高齢者の生きがい対策事業は重要であるが、敬老会に関しては、手法や内容等を検討し、コストの縮小に努める。	健康部 介護福祉課
				61	現状維持		
				65	縮小		
③-1	介護保険給付適正化事業	【実績】 ・必要なケースにはケアプラン提出を求め、ケアプラン指導を実施。ケアプラン点検及び実地指導、縦覧点検・医療情報との突合のすべてにおいて目標を達成することができた。 ・システム導入により指導が必要なケースの抽出が容易にでき、データ収集も行うことができていく。 【課題】 ・適正化システムをさらに活用し、業務の効率化を図る必要がある。 ・コロナウイルスの影響下でも、実地指導がスムーズに行うことができるよう調整が必要である。	B	82	現状維持	【成果の方向性】現状維持 システムによるケアプランの指導が必要なケースの絞り込みが容易となり、業務の効率化が図れている。今後も適正なサービス利用及び給付費の削減のため、事業を継続する必要がある。 【コストの方向性】現状維持 今後も、介護給付の適正化を継続する必要があることから、コストは現状維持とする。	健康部 介護福祉課
				72	現状維持		
				85	現状維持		

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	ライフスタイルに応じた地域包括ケアシステムの更なる深化を目指し、自立支援・介護予防・重度化防止に取り組むとともに、高齢者の支援体制の整備を目的に、地域包括支援センター機能の向上を図ります。
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	拡充	事業	拡大	事業
A	0	事業	4	事業
B	5	事業	4	事業
C	0	事業	1	事業
	現状維持	5	現状維持	4
	縮小	事業	縮小	1
	休止	事業	休止	事業

令和4年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	2 健康で自らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	10 障がい者福祉の充実

★目指す姿

障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した生活を営み、自らしく生き生きと安心して暮らすことができる。



■ 施策の主な取り組み

① 障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり

障がい者が安全・安心な環境のもと、自立した生活ができるよう、基盤整備を進めるとともに、障がい者の日常生活及び社会生活におけるニーズに対応した細やかなサービスを展開します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	地域生活支援事業	総合的な相談支援をはじめ、日常生活用具の給付や入浴、移動等日常生活における支援や意思疎通支援者の派遣等によるコミュニケーションや情報取得に関する支援を行います。また、障がい者の社会参加に対する支援や職業訓練に要する費用の助成を行うなど、障がい者の地域における日常生活や社会生活のニーズに対応した福祉サービスの提供を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
意思疎通支援事業の登録者数	人	香芝市意思疎通支援者名簿(手話通訳・要約筆記)に登録されている人数(累計)	33	35	37	40
手話奉仕員の養成人数	人	手話奉仕員養成講座を受講した延べ人数(平成14年度からの延べ人数)	500	550	600	650
障がい者の職場体験受け入れ人数	人	市が職場体験として受け入れた人数	4	8	12	16
優先調達金額	千円	障がい者就労施設等からの物品等の調達金額	498	600	700	800

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗				目標達成度 (R6年度比)	担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)		
32	33	32	32	97.0%	91.4%	福祉部 社会福祉課
529	530	547	547	103.2%	99.5%	福祉部 社会福祉課
4	6	0	4	66.7%	50.0%	福祉部 社会福祉課
552	600	70	637	106.2%	106.2%	福祉部 社会福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	地域生活支援事業				【実績】 ・移動支援事業、日中一時支援事業、日常生活用具の給付事業 ・聴覚障がいのある方のコミュニケーション支援としての手話通訳・要約筆記者の派遣事業 ・精神障害者保健福祉手帳1、2級所持者に対する医療費助成事業 【課題】 各指標について概ね目標を達成しており、今後も引き続き、きめ細かな対応に努める。	A		90 80 69



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	地域共生社会の実現に向けて、今後も障がいのあるかたの社会参加促進に継続して取り組む。
---------	--

担当課評価	
A	1 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	2 健康で自らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	11 生活困窮者支援の充実

★目指す姿

生活困窮者が各自の能力を活かしながら、経済的・精神的に自立できる社会



■ 施策の主な取り組み

① 生活困窮者への相談支援・就労支援の充実

生活困窮者を自立へとつなげていくために、包括的・継続的な助言・支援を受けることができる相談体制の充実を図るとともに、制度の周知を進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自立支援促進事業	生活困窮者が自立した生活を営むことができるよう、助言・支援を行うほか、個別支援プログラムの作成やハローワークとの連携等により就労支援を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
支援プラン策定により就労につながった割合	%	就労につながった件数/一般就労を目標とした支援プランの策定件数	75	80	85	90

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
49	78	50	68	87.2%	85.0%	福祉部 生活支援課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策)		
①-1	自立支援促進事業					<p>【実績】 就労支援プランの策定件数が22件であり、内就労開始となったのは15件であった。</p> <p>【課題】 新型コロナウイルスの特例貸付終了(令和4年9月末)に伴い、相談件数は減少傾向にあるが、コロナ禍による困窮や引きこもり等困窮要因は多様化しており、より個別性に配慮した支援プランの策定と就労に向け長期・継続的な支援が必要である。</p>	B	69 77 77

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	引き続きアフターコロナ禍の情勢をみながら、ハローワーク他関係機関とも連携し、個々の困窮状況や特性(職歴や病状等)に応じた就労支援プランを作成し、よりきめ細やかなフォローアップ支援を目指す。
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	拡充	事業	拡大	事業
A 0 事業				
B 1 事業	現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
C 0 事業	縮小	事業	縮小	事業
	休廃止	事業	休廃止	事業